

修了評価の方法について

1. 修了評価は全科目修了後、初任者研修課程については1時間以上、生活援助従事者研修課程については0.5時間以上の筆記試験によって行うこと。
2. 初任者研修課程について、問題の難易度は「列挙・概説・説明できるレベル」を想定し、問題を作成すること。生活援助従事者研修課程について、問題の難易度は「理解しているレベル、列挙・概説・説明できるレベル」を想定し、問題を作成すること。
3. 試験問題は、各科目から1問以上出すこと。
4. 7割以上を合格基準とし、不合格者には合格基準を満たすまで再試験を行うこと。
5. 受講生の知識・技術等の習得が十分でない場合には、必要に応じて補講等を行うこと。
6. 実習を行う場合は、定められた経験目標に基づき、経験目標を達成したかどうかを確認することにより評価を行うこと。実習記録については、受講生に返却し、控えを事業者が保管すること。
7. 評価結果については、介護員養成研修筆記試験結果一覧（第25号様式）を作成し、実績報告書に添付すること。